

# 校内支援体制充実に向け

城南中

## 久安教頭が「読売教育賞」受賞

意欲的な研究や実践を行い、優れた業績を上げている教育者や教育団体

をたたえる読売新聞社の「第69回読売教育賞」がこのほど決定し、新宮市



読売教育賞で優秀賞を受賞した久安孝典教頭

11月30日、新宮市立城南中学校

立城南中学校(中田善夫校長)の久安孝典教頭(42)が優秀賞を受賞した。

読売教育賞は、同社が教育の発展の一助にと1952(昭和27)年に創設。教科別に部門を設けて現場で指導する人々の励みとし、多様で創造性に富む教育環境づくりを進めることを目的としており、毎年全国の教育関係者などを対象に募集している。

今年は153件の応募があった。最優秀賞は9件、優秀賞には21件が選ばれ、久安教頭の実践論文「特別支援教育コーディネーターを中心とした『校内支援体制』の構築について」は特別支援教育部門での受賞となり、記念盾が同校に贈られた。

受賞について久安教頭は大変うれしく、光栄なことと語り「募集要項が届いた際に一度、原点に立ち戻ってこれまで取り組んできたことを見直してみようと論文を作成しました。今後も体制の充実に向けて、当地方の特別支援教育推進に少しでも寄与できれば」と話していた。(榮本康人)